

米沢市立東成中学校開校に伴う第一中学校の改修案比較表

※令和7年度における一中の保有教室数は19教室  
 ※生徒数は令和7年5月1日時点の状況

案		基準	A	B	C	D	E	F
統合時期		令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
七中生徒数	生徒数	172人 (10)	163人 (8人)	148人 (6人)	134人 (不明)	116人 (不明)	106人 (不明)	110人 (不明)
	※( )は特支人数	1年:50人 2年:52人 3年:60人 (特支:10人)	1年:53人 2年:50人 3年:52人 (特支:8人)	1年:39人 2年:53人 3年:50人 (特支:6人)	1年:42人 2年:39人 3年:53人 (特支:不明)	1年:35人 2年:42人 3年:39人 (特支:不明)	1年:29人 2年:35人 3年:42人 (特支:不明)	1年:46人 2年:29人 3年:35人 (特支:不明)
	学級数	8学級 (2)	8学級 (2)	8学級 (2)	6学級 (不明)	5~6学級 (不明)	4~5学級 (不明)	4~5学級 (不明)
	※( )は特支学級	1年:2学級 2年:2学級 3年:2学級 (知的:1学級 情緒:1学級)	1年:2学級 2年:2学級 3年:2学級 (知的:1学級 情緒:1学級)	1年:2学級 2年:2学級 3年:2学級 (知的:1学級 情緒:1学級)	1年:2学級 2年:2学級 3年:2学級 (特支:不明)	1年:1~2学級 2年:2学級 3年:2学級 (特支:不明)	1年:1学級 2年:1~2学級 3年:2学級 (特支:不明)	1年:2学級 2年:1学級 3年:1~2学級 (特支:不明)
施設整備内容	不足教室数	5室+予備1室	4室+予備1室	2室+予備1室	2室+予備1室	1室+予備1室	1室+予備1室	0室
	不足教室の対応	[増築]教室3室 [改修]1階 特支3室	[増築]教室2室 [改修]1階 特支3室	[増築]なし [改修]1階 特支3室	[増築]なし [改修]1階 特支3室	[増築]なし [改修]1階 特支2室	[増築]なし [改修]1階 特支2室	[増築]なし [改修]なし
	メリット	・ A~F案と比較して、物価上昇の影響が小さい	・ B~F案と比較して、物価上昇の影響が比較的小さい	・ 増築不要	・ 増築不要	・ 増築不要 ・ B、Cよりも不足教室が1減る	・ 増築不要 ・ B、Cよりも不足教室が1減る	・ 不足教室の対応が不要 (予備は既存のコンピューター室を活用想定)
	デメリット	・ 増築部の屋根及び周辺の除雪が必要になる場合がある ・ 1階に増設する特支3室は日当たりが悪い ・ 多目的スペースがない	・ 増築部の屋根及び周辺の除雪が必要になる場合がある ・ 1階に増設する特支3室は日当たりが悪い ・ 多目的スペースがない ・ 基準比で物価上昇10%	・ 1階に増設する特支3室は日当たりが悪い ・ 多目的スペースがない ・ 基準比で物価上昇20%	・ 1階に増設する特支3室は日当たりが悪い ・ 多目的スペースがない ・ 基準比で物価上昇30%	・ 1階に増設する特支2室は日当たりが悪い ・ 多目的スペースがない ・ 基準比で物価上昇40%	・ 1階に増設する特支2室は日当たりが悪い ・ 多目的スペースがない ・ 基準比で物価上昇50%	・ 基準比で物価上昇60%
増築工事	194,000千円	165,400千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
内部改修工事	320,000千円	352,000千円	384,000千円	416,000千円	448,000千円	480,000千円	336,000千円	
長寿命化工事	358,000千円	393,800千円	429,600千円	465,400千円	501,200千円	537,000千円	572,800千円	
屋体空調工事	95,000千円	190,000千円	190,000千円	190,000千円	190,000千円	190,000千円	190,000千円	
外構工事	87,000千円	95,700千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
合計	1,054,000千円	1,196,900千円	1,003,600千円	1,071,400千円	1,139,200千円	1,207,000千円	1,098,800千円	
実質単年度収支	△458百万円	△240百万円	△27百万円	135百万円	251百万円	289百万円	54百万円	
財源調整基金年度末残高	1,512百万円	1,272百万円	1,245百万円	1,380百万円	1,631百万円	1,920百万円	1,974百万円	

(備考)

- ① 国の規定及び本市の学校適正規模・適正配置等基本計画において、中学校の適正規模を「各学年4学級以上、全体で12学級以上」としている。
- ② R14以降の特別支援学級の生徒数は、R7時点で未就学で障がいの有無が不明であることから4学級と想定。
- ③ 予備教室は、別室登校のためのスペースや特別支援教室の予備分などを想定。
- ④ 内部改修工事は不足教室の対応のほか、特別教室への空調設置、その他修繕を含む。また、長寿命化工事は屋根防水の更新、外壁改修、ひびわれ対策、コーキング更新を想定。
- ⑤ 屋体空調工事は基準年度(R11)以外は一中と七中の2校分を計上し、外構工事は駐車場及び駐輪場の拡張工事を想定。
- ⑥ 基準年度(R11)以降、内部改修工事で長寿命化工事は1年ごとに10%物価上昇すると仮定。屋体空調工事は統合時期に関わらず、同時期に設置する想定でいずれの案も同額としている。
- ⑦ 実質単年度収支及び財源調整基金年度末残高は、R8. 2. 5公表「今後の財政見通し」の数値。

(参考) 一中和七中が統合した場合の生徒数

生徒数	生徒数	594人 (30)	574人 (26)	548人 (18)	532人 (不明)	495人 (不明)	475人 (不明)	456人 (不明)
	※( )は特支人数	1年:175人 2年:177人 3年:212人 (知的:18人 情緒:12人)	1年:196人 2年:175人 3年:177人 (知的:18人 情緒:8人)	1年:159人 2年:196人 3年:175人 (知的:11人 情緒:7人)	1年:177人 2年:159人 3年:196人 (特支:不明)	1年:159人 2年:177人 3年:159人 (特支:不明)	1年:139人 2年:159人 3年:177人 (特支:不明)	1年:158人 2年:139人 3年:159人 (特支:不明)
	学級数	24学級 (5)	23学級 (5)	21学級 (4)	21学級 (4)	20学級 (4)	20学級 (4)	19学級 (4)
	※( )は特支学級	1年:6学級 2年:6学級 3年:7学級 (知的:3学級 情緒:2学級)	1年:6学級 2年:6学級 3年:6学級 (知的:3学級 情緒:2学級)	1年:5学級 2年:6学級 3年:6学級 (知的:2学級 情緒:2学級)	1年:6学級 2年:5学級 3年:6学級 (特支:4学級)	1年:5学級 2年:6学級 3年:5学級 (特支:4学級)	1年:5学級 2年:5学級 3年:6学級 (特支:4学級)	1年:5学級 2年:5学級 3年:5学級 (特支:4学級)